

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標14] 海の豊かさを守ろう

エス・ディー・ジーズ



「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**」、として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

14 海の豊かさを守ろう



サステナブルシーフード

環境や社会への影響に配慮し、持続可能な方法で漁獲、養殖された水産物

MSC 認証(海のエコラベル)
持続可能な漁業で取られた天然の水産物の証

ASC 認証
適切に管理されて育てられた養殖の水産物の証

地球の約7割を占める海は、私たちに多くの恵みを与えてくれています。違法な漁や乱獲による水産資源の減少、ごみや汚染水の流出による海洋汚染など、さまざまな問題を抱えています。

特に深刻なのが、自然分解されない「プラスチックごみ」による生態系への影響で、このままでは2050年までに、世界中の魚の重量を超えてしまうとの予測もあります。海洋ごみの約8割は、私たちの暮らしの中で発生したごみが河川を伝って海に流出しているといわれており、海のない内陸部に住む私たちにとっても決して無関係ではありません。

ごみをできるだけ出さない、分別に心掛けるなど、私たち一人一人が日々の生活の中で心掛けていくことが、豊かな海を守っていくことにつながります。

日常生活でできる取り組み

- マイバッグやマイボトルを使う
- ごみの分別・正しい処分に心掛ける
- 地域の清掃活動に参加する
- 認証マークの付いた水産物を選ぶ

市の取り組み

- 鮭資源等確保活用事業**
→ 鮭資源の保護や環境教育を通じた河川環境向上のため、雄物川・玉川で鮭の捕獲とふ化放流事業を実施
- 全市一斉クリーンアップ**
→ 4月の「あきたクリーン強調月間」に合わせ、各地域の自治会などを中心に地域の道路や河川のごみ拾いなどを実施